



だっこするよ

令和2年6月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

新しい生活様式もこどもたちと議論しよう！

6月を迎える、団地内の櫻の大樹たちが豊かに葉を茂らせてとても美しいです。根元から見上げると放射状に枝が伸びて見事だなあと見とれます。春の新芽、夏には日陰を作ってくれ、秋の落葉に冬の籌姿と一年を通して存在感のある樹木です。毎日、散歩に出かけるこどもたちを見守ってくれているようです。園庭には、保護者からいただいたゴーヤに花が咲き始めました。向日葵や朝顔と花野菜の生長をみんなで楽しみたいです。

緊急事態宣言の解除後、社会経済活動が段階的に再開され始め、保育園の受け入れも通常に戻りつつあります。北区では6月末までは家庭保育が可能なご家庭は、引き続き自粛をお願いしています。ご協力を宜しくお願いいたします。



自粛期間中、異年齢保育で過ごし、幼児組では、年長児たちが進んで小さな友人の面倒を見てくれる姿、自然に靴を直してあげたり、教えてあげたり、とても穏やかで誰もがいい表情が見られました。自主的に気付いて行動する力は、アクティブラーニングそのものです。公立時代の年齢別保育を引き継ぎましたが、前園で行っていた異年齢保育3, 4, 5歳児でのクラス編成をやりたいと思うようになりました。このコロナ禍がきっかけで見えてきたことをいろいろと整理していくたいと思います。今までの当たり前でなくゼロから考えてみるチャンスですね。先日もこどもたちの力を信じることに気付かせてくれました。久し振りの登園ではしゃぎたい、遊びたい3歳さん、私は怪我をしないといいなあ～と思っていると年長児が隣で「僕はその気持ちが分かるよ。」とポツと言った言葉に鳥肌が立ちました。安全ばかりに見て、心を見落としていたと。大人が見えなくなったことをこどもは理解してその気持ちを汲み取っている。まるで哲学的でこどもの感性は鋭く素晴らしいです。うちの園の強みは、逆手に考えて人数が多いこと、個性豊かで面白くて優しいこどもたちがいること、それをもっと引き出し、思いを表現させてあげたいと思いました。

今、地球規模で何が起るか分からない時代に入ったと思うと、その時に守るべきものや育てたい力とは何か？言われたことだけをする人間に育ててしまうと指示を待つ子になり、やがてそれがそんな大人を増やし、社会は、自分の事だけ考えたらいいとなると日本、地球の未来は益々不安です。21世紀誰も取りこぼさず幸福に生きるには、こどもたちが自発的に考え、何をしたいか議論しながら、皆で自分達のクラスを運営していくという小さな経験を積むこと。意見がぶつかるも、もともと違う人間の集まりであり、違いこそ面白いと。こどもたちがやってみたい運動会なんて最高です。これから保育とは、対話して議論することからこどもと一緒に創り上げる生活だと思います。「個」を育て磨く=自分の意見を尊重してもらえる経験がさらに園生活に関心をもち、当事者としての考える力、責任感が育つことでしょう。なんと脳科学では6ヶ月～10ヶ月の赤ちゃんも相手と対話する能力を持っていると証明されているそうです。人間ってすごいですね。

お店でのソーシャルディスタンスにも慣れてきましたが、保育園は、どうしても三密の場になります。衛生管理のもとで、あまり過敏にならず、マスク顔であっても、ボディーランゲージで対話をしながら、「安心」「信頼」を育んでいきたいと思っています。不安な点はいつでも声をかけてくださいね。こどもの心に寄り添って、焦らずゆっくりと新クラスに慣れていくましょう。新入園のお友達、保護者の皆さん、始まりの一歩、ゆっくりゆっくり歩みましょう。時々道草もありですよ…こどもたちはママが思っている以上にタフでちゃんと育っています。我が子を信じてね。 写真は、「新しい生活様式をこどもと創ろう」